

★宮日新聞に掲載された記事

17.30.2.2 宮日

手打ちそばおいしい

串間 本城小生が体験学習

串間市の本城小(矢野浩子校長、60人)で26日、そば打ち体験学習があった。3年生9人がそば打ちに挑戦し、手作りのかけそばを味わった。同市の川北製麺所会長の河



手作りしたそばを頬張る児童ら

野至さん(67)が講師を務め、地元の食生活改善推進員や保護者らが児童を手伝った。児童たちは河野さんが練り上げたそば粉に水を加えて手でこね、打ち粉をして麺棒で薄く延ばしていった。食べやすく包丁で切り分けた後に湯がき、あじ節やかつお節、しよゆなどを作っただし汁と合わせた。

出来上がったそばを前に児童たちは「おいしそう」と満面の笑み。全真でテーブルを囲み、笑顔でそばを平らげている。中出まなみさん(9)は「店でではなくそばが出てくるけど自分で作ったら難しかった。でもその分おいしいかった。金丸蒼馬君(9)は「5杯はおかわりでさくらんぼのおいしかったです。そば粉をこねるのが粘土みたいで面白い。またやってみよう」と喜んでいました。(前田潤一郎)

楽しくゲーム 児童園児笑顔

本城小で交流会

1430. 2/24(土)



「だるまさんが転んだ」を楽しむ児童、園児たち

串間市の本城小(矢野浩子校長、60人)の児童と上徳原保育園(溝下真弓園長、28人)の園児が交流を深める「ふれあい集会」は15日、同校体育館であった。子どもたち約80人が仲良くゲームを楽しんだ。地域の児童、園児の親睦を深めようと毎年開催。今年と同園の3〜5歳児19人を学校に招待し、児童たちの提案

した3種類のゲームを行った。「じゃんけん列車」では、子どもたちは音楽に合わせて歩き回り、出会った相手との勝負に大歓声。「だるまさんが転んだ」では鬼に見つからないよう全力疾走していた。

最初は緊張した表情だった園児たちも次第に打ち解け、児童たちと手をつないだり、はしゃいだりと大喜びだった。

同校1年の河野匠真君(7)は「園児たちと一緒にゲームをして楽しかった。また遊びたい」、同園の中野希華ちゃん(6)は「小学校に上がるのが楽しみ。入学したらサッカーをして遊んでほしい」と笑顔で話した。

(前田潤一郎)